



Think Automation and beyond...



IDEC株式会社

〒532-0004 大阪市淀川区西宮原2丁目6番64号
TEL: 06-6398-2500(代表)
<http://jp.idec.com>

IDEC Report 2016



この報告書は環境に
配慮し、植物油インキを
使用しています。





Index

| | |
|-------------------|-------------------|
| Corporate Profile | 02 Top Message |
| | 05 Our History |
| | 09 Our Strategy |
| | 13 Our Business |
| | 24 Our Technology |
| Annual Report | 25 財務ハイライト |
| | 26 財務報告 |
| | 29 製品別売上高 |
| | 31 グローバル体制 |
| CSR Report | 33 CSR報告 |
| Corporate Data | 39 役員紹介 |
| | 41 会社情報/株式情報 |

Think Automation and beyond...

人と機械がふれあうその接点に「安心」と「信頼」、そしてその先にある「新しい可能性」を創造する。

IDECはステークホルダーの皆さまに支えられ、2015年11月に創業70周年を迎えることができました。創業以来、制御技術を核とするさまざまな製品やサービスを社会に供給し、産業現場はもちろんのこと、現在では安全性、操作性、信頼性、環境負荷低減が求められる生活の身近なシーンにおいても、多岐にわたりご活用いただけるまでになっています。

私たちは、「社会貢献を念頭においたものづくり」を経営理念のひとつに掲げています。企業として真の社会貢献を果たすために、当社で働く一人ひとりが従来からの延長線上ではなく、弛まぬ

努力をもって自己の研鑽に努めること、そして「常にお客さまの視点を大切に、確かな技術でお応えする」という基本姿勢を決して忘れないこと。これこそが、IDECグループがお客さまに真に選ばれる企業“プリファード・サプライヤー”として社会貢献を果たし、新しい可能性を切り拓く礎になると確信しています。

人と機械がふれあうその接点に「安心」と「信頼」、そしてその先にある「新しい可能性」を創造する。ものづくりとくらしの未来を輝かせるため、IDECグループは100周年へ、さらにその先に向かって歩み続けてまいります。

多様化する社会のニーズに、 IDECの技術を活かした ソリューションでお応えします。



2016年3月期の業績

主力の制御用操作スイッチや、イネーブルスイッチなど安全関連機器の売上が伸長したことに加え、新規事業として取り組んでいる自動認識機器事業が拡大したことなどにより、国内売上高は275億7千9百万円(前期比4.0%増)となりました。また海外売上高は、北米地域において制御用操作スイッチや小形プログラマブルコントローラの売上が伸長したことに加え、中国において安全関連機器などの売上が伸長した結果、158億8千8百万円(前期比1.6%増)となりました。その結果、連結全体の売上高は434億6千8百万円(前期比3.1%増)、営業利益は31億7千6百万円(前期比9.1%増)、営業利益率は7.3%となり

ました。期末配当金につきましては、1株当たり年間配当金36円、DOE(株主資本配当率)3.5%となりました。

今後の事業戦略

IDECグループでは、既存事業の収益性向上と、環境エネルギー分野を中心とした新規事業の拡大に取り組んでおります。

既存事業分野においては、国内外の成長分野の顧客ニーズにフォーカスしたソリューション展開を強化するとともに、ニーズに対応するために必要な技術・製品・販路といったリソースを得るため、M&Aも含めた戦略的なパートナーシップ構築にも取り組んでまいります。

新規事業分野においては、社会的ニーズの高い再生可能エネルギーの普及促進

に加え、自動認識機器の拡販や農業ソリューション、ファインバブル生成技術などを中心に、当社グループのコア技術を活かした製品およびシステムの提供によるビジネスの拡大を推進してまいります。

今後とも、「企業の発展を通じて社会経済に貢献する」という企業目標のもと、社会的な課題やニーズに対応していくことで企業価値を向上させ、利益還元に努めてまいります。

ステークホルダーの皆さまにおかれましては、より一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役会長兼社長

舩木俊之

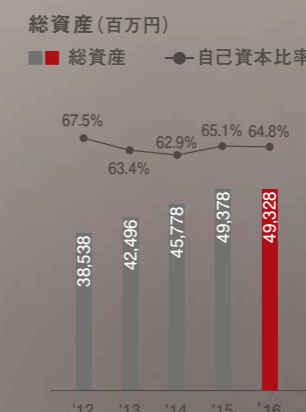
[財務ハイライト] 機器製品事業を中心に堅調に推移し、増収増益を達成。

売上高 **43,468** 百万円
前期比 +3.1%

営業利益 **3,176** 百万円
前期比 +9.1%

国内売上高 **27,579** 百万円
前期比 +4.0%

海外売上高 **15,888** 百万円
前期比 +1.6%





創業者 松木恒雄

IDECグループの歴史は、1945年11月、大阪・道修町の一角に「和泉商会」を創業したことに始まります。和をもって人の力を結集させ、常に汲めども尽きない泉のように素晴らしいアイデアが湧き出し、発展を続ける企業になろう…、それが「和泉」という社名に込められた願いです。



創業当時の店舗

1956年に大阪市淀川区に完成した三国工場（写真/上）
当時の製造現場（写真/下）



初の海外拠点となる台湾和泉精機（現・台湾愛徳克）

創

At the time of Start-up 1945-

Over 70 years of Innovation

「新しい可能性」を創造する。それは、創業時から引き継がれる志。

戦後復興の時代、高品質な制御機器の製造・販売を開始

高度成長を支える陰の主役、制御機器の総合メーカーに





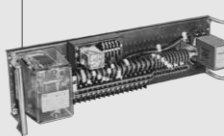
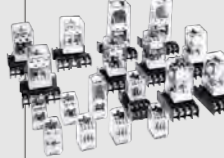
IDECは、終戦の年である1945年に「和泉商会」として創業しました。創業当初は電気器具の小売、販売を行っていましたが、当時機械設備などに欠かせない各種開閉器が不足していたことに着目し、高品質の開閉器を開発。産業界からの高い評価を受け、規格に厳しい駐留米軍の指定品となるなどロングセラー製品となり、繊維・化学工場、石油コンビナートなどで活躍する防爆機器とともに、戦後復興のものづくりを支えました。

高度経済成長にともない、設備や装置を最適な状態になるよう制御する、計測・制御技術のニーズが高まってきました。これらの装置やシステムに欠かせない制御機器の製造・販売を始め、制御機器の総合メーカーへと転換、日本の経済発展を支えました。1970年代には、事業規模の拡大と量産化に対応するため、国内外に生産・販売拠点を設立しました。

創業以来、製造現場の「安全」「安心」を担う製品を作り続けてきました。これからも、制御技術や環境技術で社会課題の解決を図り、社会に貢献し続けます。

【製品・技術の歩み】

M a k e a S a f e t y

| | | | | | |
|--|--|--|--|---|---|
| <p>1950</p>  <p>SB形金属箱開閉器 画期的な速入速断機能を備え、ヒット製品となり、IDECの礎を築いた。</p> | <p>1953</p>  <p>AR形防水・防蝕・防爆形蛍光灯 繊維、化学工業などの工場で使用される、特殊な照明器具として開発。</p> | <p>1958</p>  <p>小形コントロールユニット 徹底した小形化を図り、制御機器専門メーカーへの転換を図るきっかけとなった製品。</p> | <p>1960</p>  <p>耐圧防爆形コントロールボックス 爆発の危険性のある石油コンビナートなど、防爆機器を必要とする産業向けに発売。</p> | <p>1969</p>  <p>SPS形ステッピングプログラマ プログラマブルコントロールの先駆けとなる製品で、当時としては画期的な機能を備えていた。</p> | <p>1972</p>  <p>イエローリレー リレー分野に初めて参入。高い信頼性と長寿命を実現し、主力製品のひとつとなった。</p> |
|--|--|--|--|---|---|

馬区

At the
time of
Growth
1970-

常に、ものづくりの現場を支え、時代とともに駆け抜けた。

グローバルビジネスの拡大

1970年以降、海外での子会社設立や、欧州の展示会への出展、海外優良企業との提携など、グローバルビジネスの展開を積極的に進めました。この時期、初めて国際規格であるIEC規格に準拠するコントロールユニットを発売。今も売れ続ける大ヒット製品となりました。業績も拡大を続け、1982年には株式上場を果たしました。

「人と機械の最適環境」を創造する製品開発

1990年代以降、ものづくりの現場は、人と機械が共存するHMI (Human Machine Interface)環境が主流となってきました。このような生産性や安全性に配慮した機械・設備ニーズに応える製品として、国内初の安全スイッチやイネーブルスイッチを発売しました。2000年には、自動化・省力化を目的として、主力工場である滝野事業所に多品種変量生産を実現する、ロボット制御セル生産システムを導入しました。



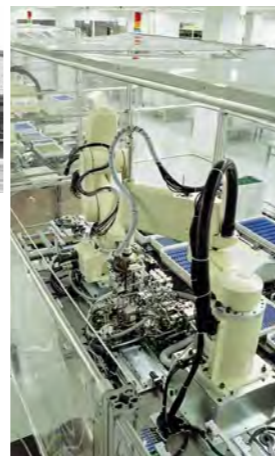
ドイツのハノーバーメッセに出展



米国に設立したIDEC CORPORATION



IEC規格に準拠する
コントロールユニット
「TWシリーズ」



ロボット制御セル生産システム

IDEC

Think Automation and beyond...

新しいシンボルマーク



植物工場ラボ



2013年に完成した新本社

100周年、
さらにその先へ。
これからも羽ばたき
続けるために。

翔

At the
time of
Expansion
2000-

和泉電気からIDECへ

2005年、創業60周年を機に「IDEC」へと社名変更し、コーポレートシンボルマークも刷新しました。創業70周年を迎えた2015年には、10年後となる2025年の企業イメージを想定したビジョンを検討するプロジェクトを立ち上げ、若手社員を中心にビジョンの策定を行うなど、未来に向けた取り組みを行っています。

持続可能な社会のために

今後、CO₂排出量拡大などによる環境問題や人口増加による食糧問題などが、地球規模の課題になると考えられます。IDECは、これまで培ってきた技術を活かし、LEDや再生可能エネルギーの普及促進、農業の自動化への取り組みを推進していくことで、新しい可能性を創造し、100周年、さらにその先の未来に向けて成長を続けていきます。

【製品・技術の歩み】

M a k e a F u t u r e

1989



プログラマブル表示器
表示デバイスに液晶を採用し、HDシリーズとして製品化。



**MICRO-1
プログラマブルコントローラ**
PC市場におけるマイクログリッド分野に先鞭をつけた製品として、業界で大きな話題となった。

1993



GaLF
IDEC独自の加圧管路方式を採用した、気泡水製造技術「GaLF (Gas Liquid Foam)」を発表。

1998



イネーブルスイッチ
非常時に危険回避を行うイネーブルスイッチを、国内で初めて製品化。

2011



小形コントロールユニット「LBシリーズ」
パネル奥行きが業界最短と薄形で、配線作業が容易な製品。

2014



プログラマブルコントローラ「FT1A」
ユーザーアプリケーションの省配線、省スペース、省工数に貢献する、表示器一体形のコントローラ。

Our Strategy

時代の変化を的確に捉え、市場ニーズにマッチした製品やサービスを「地産地消」で展開し、持続的な成長を目指します。

IDECのビジネスを取り巻く環境は、中国経済減速の影響もあり予断を許さない状況にあるものの、ものづくりの自動化、ネットワーク化、環境への配慮といった世界的メガトレンドは続くものと考えられます。このような世界的トレンドを捉えつつ、IDECグループでは、地域・業界のニーズに応じた開発・生産・販売体制を整備し、既存事業における収益性向上や新規事業拡大に取り組んでおります。

代表取締役専務 船木 幹雄



2017年3月期の計画

| | |
|-------|-------------------|
| 売上高 | 43,700 百万円 |
| 前期比 | +0.5 % |
| 営業利益 | 3,500 百万円 |
| 前期比 | +10.2 % |
| 営業利益率 | 8.0 % |
| 前期比 | +0.7 ポイント |

2016年3月期の売上高は434億円、営業利益率は7.3%となりました。

2017年3月期は増収増益を計画しており、特に収益性の改善を進めることで、ROEの向上も推進してまいります。

既存事業の強化と新規事業の拡大

産業構造の変化

IoTの普及
ロボット革命
ものづくりの
海外移転

IDECの強み

制御技術
安全
インテリジェンス
インターフェイス

市場ニーズにマッチした
製品・サービスを展開

IoTの普及やロボット活用現場の広がりなど産業構造が変化するなか、IDECが強みをもつ「人と機械とのインターフェイス」や「安全機器」などの技術・ノウハウを活かしながら、市場ニーズに合った製品・サービスを展開してまいります。

また、環境エネルギー事業を中心とした新しいビジネスを早期に立ち上げるなど、既存事業の強化と新規事業の拡大を進め、収益性の向上を図ってまいります。

持続的な成長のための人財育成



持続的な成長を実現するため、オーナーシップの感性を備え、自らの意思で現在と未来を切り拓ける人財の育成に力を入れております。

また、女性や外国籍従業員、障がい者など、多様な人財が活躍できる企業を目指し、ダイバーシティの推進にも積極的に取り組んでおります。

Key Strategic Initiatives

提案力・技術力をベースに、
付加価値の高いビジネスを展開。

IDECがさらに飛躍するため、M&Aを含めた戦略的パートナーシップの構築やグローバルビジネスの拡大、ターゲット市場の選択と集中などにより、売上と収益の拡大を図ってまいります。

また、これまで培ってきた技術やノウハウ、知見を活かしたコンサルティングビジネスや、次世代のものづくり現場における協調安全ロボットシステムの提案など、新たな事業を早期に立ち上げてまいります。

常務執行役員
セールス・マーケティング担当
Arnaud Mondy



Market - Driven Approach

IoTやロボット革命の進展など、産業構造の変化に対応するため、Web対応製品や安全関連機器のラインアップ拡充を行っています。

加えて、成長する市場にターゲットを絞ることでリソースの最大効率化を図り、グローバルニーズに応じた製品、ソリューションの展開を図ることで、収益性の向上を図ってまいります。

次世代ニーズに応える製品展開

成長市場へリソースを集中

Efficiency

製品企画から生産、販売までのプロダクト・マネジメントを強化し、ラインアップの集約や、設計・材料の見直し、統一化など、経営資源の選択と集中による効率化を図ってまいります。

また、北米・欧州拠点の機能強化と効率化に加え、アジア地域の現地マーケティング機能を強化することで、拡大する市場ニーズに迅速に対応してまいります。

プロダクト・マネジメントの強化

グローバル拠点の整備

New Businesses

さまざまな分野での活用が期待されるファインバブル生成技術において、専任部署を立ち上げ事業化を進めているほか、制御技術を活用した農業ソリューションの提案を展開してまいります。

太陽光発電分野においては、メガソーラーやパワーコンディショナなどエネルギー管理システムの展開に加え、高性能なマイクロインバータの開発も進めております。

農業ソリューションやファインバブル技術の事業化

環境エネルギー事業の拡大

工場の現場から私たちの身近なシーンまで、IDECグループはものづくりとくらしの未来を「制御の技術」で支えています。また、IoT (Internet of Things) を実現するネットワーク対応製品を数多くラインアップするなど、時代のニーズに対応した製品づくりを行っています。

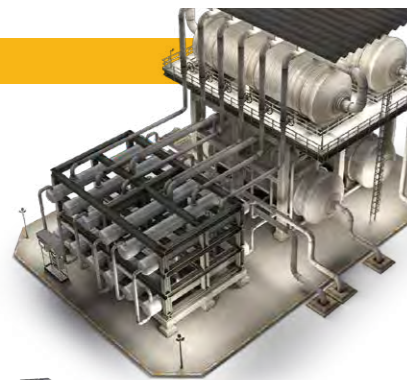


[ものづくりの現場をより安全で快適な環境に。]

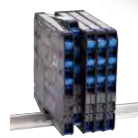
[くらしのシーンをより豊かに、スマートに。]

防爆ソリューション

爆発危険場所に各種防爆構造の製品群を展開。



本質安全・耐圧
防爆構造
タッチスイッチ付
表示器
EX4R形



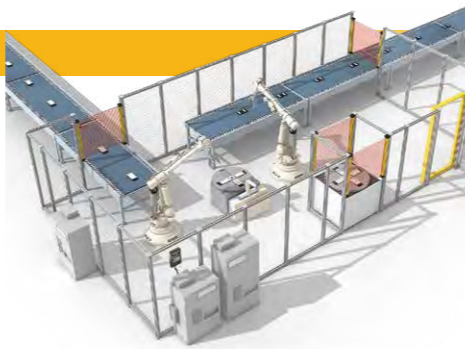
本質安全防爆構造
アナログ入力用
絶縁バリア
D5014形



非点火防爆構造
LED照明器具
VMV形

安全ソリューション

人と機械が協働するための安全対策を提案。



安全スイッチ
HS5L形



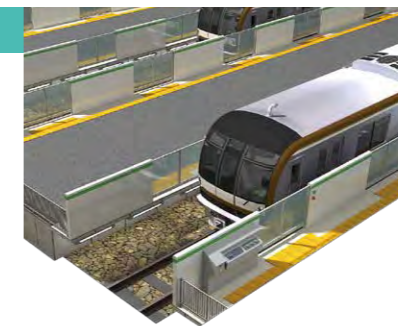
小形
ティーチングペンダント
HG1U形



セーフティ
レーザスキャナ
SE2L形

公共交通機関

制御の技術で運行の安全を支える。



LED照明ユニット
LF1D/2D形



超高輝度LED表示灯
AP22形



スマートリレー
FL1F形

環境・エネルギー

住宅向けエネルギー管理システムをトータルで提供。



パワーコンディショナ
PJ1A形



HEMSコントローラ



モニタリングユニット

オートメーション

スマートファクトリー実現に向けたキーデバイスを提供。



インターフェイスリレー
RV8H形



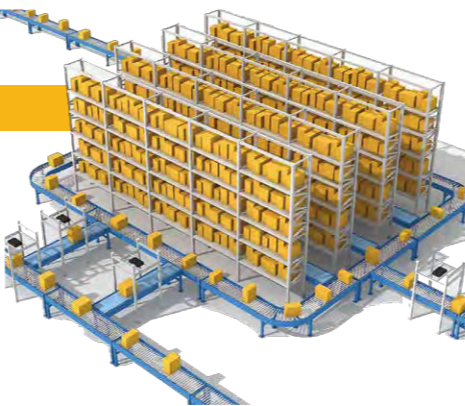
プログラマブルコントローラ
FC6A形



小形固定式
2次元コードリーダ
Matrix300

搬送系システム

物流の自動化・効率化に貢献。



プログラマブル表示器
HG2G形



産業用Bluetooth内蔵
2次元コードリーダ
PD2500HP形



小形光電スイッチ
レーザタイプ
SA1E-L形

医療

医療過誤防止や衛生面に配慮した製品をラインアップ。



固定式1次元
CCDスキャナ
WB1F形



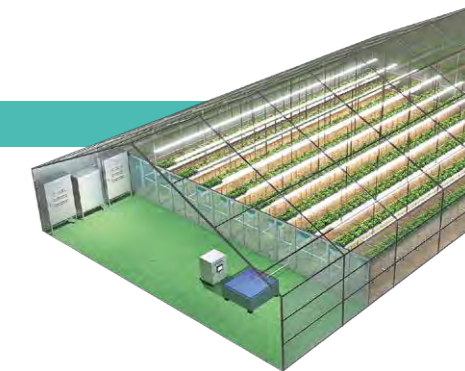
医療機器用
グリップスイッチ



医療機器用
メタルスイッチ

農業ソリューション

最先端のスマート農業システムの実現に、各種技術で貢献。



遠隔監視・制御技術



LED技術



ファインパブル技術



久保田 陽子 / 左
渡邊 健広 / 右
機器製品事業部
機器製品開発部

愛須 仁
電子製品事業部
電子製品開発部

機器製品事業

安全性と使いやすさを徹底的に追求した製品を世界に。

製品の品質や耐久性、安全性を追求することはもとより、デザイン性にも優れたスイッチやリレー、安全機器などの製品群を拡充しています。



Director's Comment

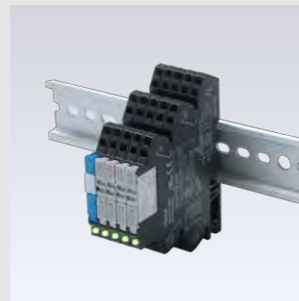
国内トップシェアを誇る制御用操作スイッチをはじめ、制御機器製品のリーディング企業としての地位を築いていくため、QCDのさらなるレベルアップを図っています。また海外市場においても、現地のニーズに応じた製品展開を行い、グローバルでのシェア向上を推進しています。

河中 泰治
機器製品事業部
事業統括部長



セーフティレーザスキャナ
SE2L形

距離5m、周囲270°の広範囲で安全防護を実現した、世界最小サイズのセーフティレーザスキャナ。豊富な機能を備え、単独でも多彩な制御が可能です。



インターフェイスリレー
RV8H形

幅約6mmのスリムな薄形インターフェイスリレー。制御盤の小形化や、スプリングクランプ端子タイプのラインアップによる、配線工数の削減に貢献します。



メタルフラッシュスイッチ

機械や装置の小形・省スペース化に貢献する、薄形でスタイリッシュなデザインのスイッチ。豊富なバリエーションで、幅広い用途に対応しています。

電子製品事業

時代とともに進化する制御システム構築をサポート。

IDECのものづくりノウハウを結集し、高付加価値でありながらグローバル市場で戦えるコスト競争力を持った製品づくりに取り組んでいます。



Director's Comment

IoT (Internet of Things) の時代を迎え、遠隔監視・遠隔操作などを実現するWeb対応製品のラインアップを拡充しています。今後も、ハード・ソフト両面で競争力のある製品の開発を進め、グローバルで展開してまいります。

錦 朋範
電子製品事業部
事業統括部長



プログラマブルコントローラ
FC6A形

高機能・多機能が詰まったコンパクトボディのFC6A形は、製造機械や各種装置の状態を遠隔地から監視・操作する、IoT時代の付加価値の追求にも応える製品です。



プログラマブル表示器
HGシリーズ

高解像度液晶、高輝度LEDバックライトの搭載で表示性能を高めるとともに、通信性能も向上。幅広いシーンで快適な操作環境を創造します。



DINレール取付スイッチング電源
PS5R-Vシリーズ

使いやすさ、高信頼性を追求しながら、スリム化を実現。制御盤内のスペースを削減し、小形化、コストダウンに貢献するグローバル市場向けの電源です。



防爆事業

国際防爆規格に準拠した最新防爆技術で産業現場の安全、安心を実現。

産業現場の安全性・生産性を向上させる防爆製品群の強化とともに、防爆LED照明、防爆カメラなど省エネやメンテナンス性向上を意識した製品を展開しています。



Director's Comment

防爆製品のリーディング企業として、水素エネルギー普及に備えた水素ガス対応防爆製品や、IoTなど新たなニーズに応える製品展開を進めています。同時に、国際IECEXシステム、ATEX指令（欧州防爆指令）、北米ULなどの海外認証取得を強化し、海外成長市場への展開も推進しています。

梶原 英之
防爆事業部
事業統括部長



防爆LED照明器具

爆発性ガスを扱う事業所や倉庫の省エネと省メンテナンスを実現。高天井から低天井・タンクの透視灯用まで豊富な種類を揃え、防爆構造ながら、小形・軽量を実現しています。



防爆ネットワークカメラシステム

石油化学プラントなど、危険場所で使用できるネットワークカメラ。無線LANによるワイヤレス化で設置場所の自由度が高く、遠隔操作でズームもでき、PCやスマートフォンで映像をモニタリングすることが可能です。



海外防爆認証取得
コントロールボックス/ EC2B形
コントロールユニット/ EU2B形

海外プラント向けに最適なATEX指令適合品に加え、IECEX認証、UL認証を取得。コントロールユニットはパイロットライト、押ボタンスイッチなどを完備しています。

★: 水素防爆対応品

LED事業

用途や場面に応じたあらゆるシーンに最適な光を提供。

1980年代から、お客さまのさまざまなニーズにいち早く応えてきたIDECのLED技術を活かし、さまざまなシーンを照らす新しい光をご提供しています。



Director's Comment

FA周りのLED照明をはじめ、顧客のニーズを先取りする「尖った」製品で、新市場・新分野への展開を進めているほか、製品品質の向上と安定にも継続して取り組んでいます。また、お客さまが求める製品をいち早くお届けする即納体制をさらに強化し、顧客満足の向上を図ってまいります。

中野 智之
LED事業部
事業統括部長



植物育成LED照明

植物育成に最適な波長の追究や均一配光を、自社で実証し実現。さまざまな植物の栽培環境に対応します。



レンジフードLED照明

FAで培った防じん・防水技術により、蒸気・油などの苛酷な環境にも適応したLED照明です。



LED照明ユニット
LF2B形

用途や使用場所を選ばない薄形タイプのLED照明で、ACフリー電源ユニット内蔵により、グローバルエリアでの使用が可能です。



中井 龍暢 / 左
システム事業部
企画担当マネージャー
鈴木 正敏 / 右
株式会社コーネット
取締役



平尾 忠悦 / 左
Auto-ID事業部
大阪開発グループ
鈴木 祐司 / 右
IDEC AUTO-ID SOLUTIONS株式会社
営業部

システム事業

IDECのTechnologyとGlobal Networkで「新しい価値」を創造し、システムを提案。

顧客ニーズにお応えする最適な制御システムの提案からエンジニアリングまでを、スピーディーに展開しています。



Director's Comment

IoTの進展により、システム事業の領域はFA分野以外にも拡大を続けています。時代の変化を先読みし、迅速に対応することで、さまざまなニーズを取り込むとともに、人と機械(ロボット)が協調できる、新しい安全・安心の実現に向けた取り組みを進めています。

武仲 清貴 / 左
システム事業部 事業部長
株式会社コーネット
代表取締役社長

内村 健治 / 右
システム事業部
副事業部長



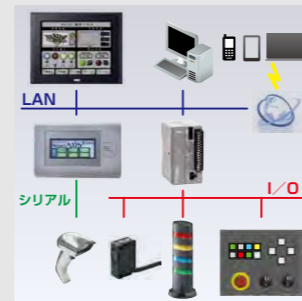
ユニットソリューション

各種スイッチなど、さまざまな製品を組み合わせたスイッチハーネス、スイッチボード、スイッチボックス、リレーボードなどのユニットソリューション提案を行っています。



制御盤

制御盤・操作盤の設計から、部品調達、製作、機内配線、作画、ラダー設計、検査、現地立ち上げまで、電気制御の一貫体制を整えています。



システムソリューション

プログラマブルコントローラをシステムに組み込んだ、遠隔監視、生産管理、警報、入退室管理などの各種システムを構築し、製造現場のみならず病院や店舗、企業などに提供しています。

Auto-ID事業

豊富な自動認識機器でさまざまな分野にKODAWARIのソリューション。

世界有数の自動認識機器メーカーDATALOGIC社の強力なラインアップに加え、「こだわり」の自社開発製品で最適な自動認識システムを提案します。



Director's Comment

ターゲットとする4つの分野において、顧客ニーズや市場特性に応じたソリューションを提案することで、ポジションの拡大を図ってまいります。また、今後のグローバル展開に向けた自社製品のラインアップ強化を進めています。

原田 博丞
Auto-ID事業部 事業部長
IDEC AUTO-ID SOLUTIONS株式会社
代表取締役社長



リテール分野 ヘルスケア分野

リテール分野のニーズに合う自動認識システム(POSスキャナ、モバイルなど)に加え、高度管理化が進む病院内の医療過誤防止など、ヘルスケア分野でも最適なソリューションを提供しています。



FA(ファクトリー・オートメーション)分野

多岐にわたる製造業の生産自動化、品質管理、トレーサビリティ、入出荷・在庫管理に活用できる自動認識ソリューションを提供します。



物流・ロジスティック分野

空港手荷物自動仕分けシステムや、宅配物流システムなどに対し、高速ビジョンシステム、高速レーザスキャナ、自動寸法計測システムを活用した最新のソリューションを提供します。

環境エネルギー事業

地球の未来を見据えた 環境エネルギー ソリューションの創造。

光、水、土、食料…。私たちが生きていくのに欠かせない地球の恵みを守り続けるため、IDECが培ってきた、制御技術、環境技術を活かした事業展開を推進しています。



Director's Comment

すでに日本各地に展開しているメガソーラーをはじめ、風力・地熱など再生可能エネルギーの普及に向けた取り組みを推進しています。
また、安全・安心で高品質な農産物を安定的に生産する技術の提供を中心に、設備の設計、施工、メンテナンス、農業指導、販売戦略まで提案できる、トータルソリューションパートナーとして農業の工業化に貢献してまいります。

田近 雄彦
ソーラースマート事業部 事業部長
IDECシステムズ&コントロールズ株式会社
専務取締役



西田 朋広
IDECシステムズ&コントロールズ株式会社
環境エネルギー事業統括部
アグリシステム事業部
営業部



中島 義人 / 左
IDECシステムズ&コントロールズ株式会社
環境エネルギー事業統括部
エンジニアリング事業部
技術部

西村 安史 / 右
IDECシステムズ&コントロールズ株式会社
環境エネルギー事業統括部
エンジニアリング事業部
営業部

[農業ソリューション]

太陽光併用型農業プラント

IDECはハウス内で栽培する太陽光併用型農業プラントを推進しています。温度や光などを管理する光合成環境の管理と、根による養分吸収促進のための根圏環境の管理を組み合わせ「総合管理」で、おいしく、安全・安心で高品質な農産物を効率的・安定的に生産する、強い農業を実現します。機器の販売だけでなく、農業プラントの設計・建設、農業指導などトータルで提案します。



植物育成用ファインバブル発生装置 agriGaLF

微細気泡生成技術により土中の微生物を活性化させることで、植物の健全・健康な成長を促進します。



制御技術

ハウス内外の温度・湿度や光量、CO₂濃度の状況から、照明や窓の開閉などを高精度にコントロールします。

[エネルギーソリューション]

メガソーラーの企画・設計・調達・施工・メンテナンスまでトータルで行うEPC^(*)事業者として、また住宅用パワーコンディショナ、HEMSコントローラの開発・販売やクラウドサービスの提供など、IDECはトータルソリューションプロバイダーとして太陽光発電をはじめとした再生可能エネルギーの普及を推進しています。

※EPC (Engineering, Procurement and Construction)

パワーコンディショナ

高効率、施工性の高さで好評を博しているパワーコンディショナに屋外用タイプが登場。



HEMS

(ホーム・エネルギー・マネジメント・システム)

電力やガス、水道など家庭で使うエネルギーの「見える化」や「最適制御」を実現。パワーコンディショナや発電・稼働状況をオンライン管理できる「安心見守りサービス」も提供します。



クラウドシステム

ファインバブル技術



小さな泡で、今までにない新たな価値を創造する。

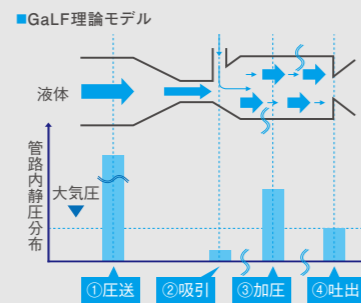
世界をリードする微細気泡生成技術により、新しい産業の創造に挑戦しています。この技術を用いた気泡「ウルトラファインバブル」の特性を利用して、幅広い分野での応用が期待されています。

ファインバブル

気泡径100マイクロメートル以下の気泡を「ファインバブル」と呼びますが、その中でも1マイクロメートル以下の極めて小さな気泡は「ウルトラファインバブル」と呼ばれます。この気泡は、長期間液中に存在し、電荷を帯びたり、気泡内部が高圧状態になるといった、これまではなかった振る舞いをします。このウルトラファインバブルの特性を利用して、幅広い分野での応用が期待されています。

IDECのGaLF (加圧管路方式) 技術

IDECは1990年からファインバブルに関する基礎研究を開始しており、独自の加圧管路方式による微細気泡生成技術を発展させ、水処理分野など数多くの納入実績があります。GaLFは他の生成方法と比較して、大量の微細気泡を発生させることができます。現在、ウルトラファインバブル発生装置や植物育成用ファインバブル発生装置の製造販売を行っています。



【ファインバブル産業会 (FBIA: Fine Bubble Industries Association)】

ファインバブルの標準化と実用化を推進する団体として、2012年に一般社団法人ファインバブル産業会が設立されました。IDECをはじめとする法人会員63社 (国内企業57社、国外企業6社) と個人正会員13名 (所属参加機関、大学など11) が加盟し (2016年5月現在)、ファインバブル計測方法の国際標準化などを中心に活動を行っています。



Our Technology

研究開発、知財、国際標準化の三位一体体制で勝ち抜く。

私たちは、「人と機械の最適環境を創造すること」を自らの存在価値とし、「研究開発+知財+国際標準化」の三位一体の開発推進体制のもと、IoTやSafety 2.0など産業構造の変化に迅速に対応することで、技術と機能のイノベーション創出を図ります。



前田 育男
国際標準化・知財推進センター
安全・標準化推進グループ

■国際標準化と知的財産戦略

「安全」「ファインバブル」の国際規格制定に参画
IDECでは、国際標準化などを利用して最適なバランスでオープン(公開)とクローズ(秘匿)をコントロールすることで市場を創出し、シェア拡大することが国際競争を勝ち抜くために不可欠だとの考えに基づき、「安全」や「ファインバブル」に関するISOやIECの技術委員会に日本を代表して参画し、国際規格創出に取り組んでいます。同時に知財部門においても、国際標準化を念頭に集中的、戦略的な特許出願を推進しています。

IEC国際規格創りに成功した3ポジション
イネーブルスイッチ



2016年3月31日現在

| 国内外における知的財産権の保有状況 | |
|----------------------------|------|
| 国内特許権・実用新案権 | 246件 |
| 海外特許権・実用新案権 ^(*) | 85件 |

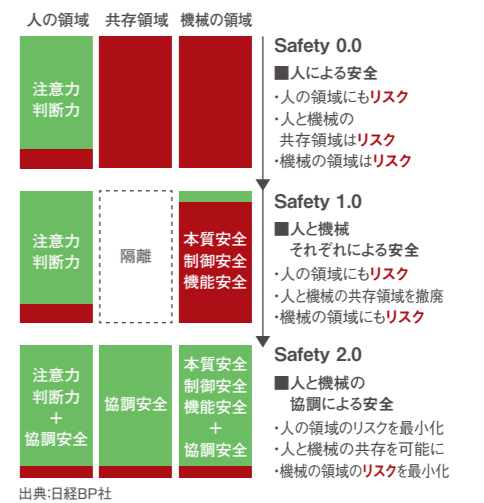
(※) 各国での権利保有数の合計

■次世代安全への取り組み

次世代の安全思想「Safety 2.0」を推進

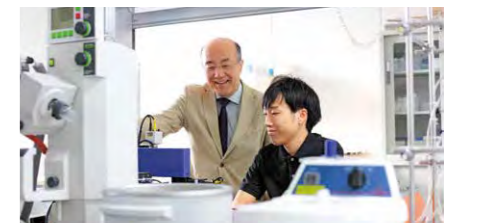
IoTを活用し、人と機械・ロボットが協働する時代が本格化しています。IDECは高次元の安全を実現する次世代の安全思想として提唱されている「Safety 2.0」(協調安全)の概念に基づき、ロボットセル生産システムの知見を活かした、より柔軟性があり、安全かつ生産性の高い生産システムの構築や、協働ロボットシステムの安全対策コンサルティングなど、新ビジネスの展開を図っています。

※Safety 0.0では、人の注意力や判断力によって安全を確保してきましたが、機械の領域や、人と機械の共存領域はリスクが高い状況でした。Safety 1.0では、機械側に安全対策を施すことにより機械自体のリスクを下げると同時に、人と機械の共存領域をなくすことで、安全のレベルを引き上げました。しかし、近年生産性を高めるために人と機械(ロボット)が共存する現場が増えてきたことから、人とモノと環境が協調することで、人と機械の共存領域の安全も高く保つことが可能になるSafety 2.0の考えが提唱されています。



■産官学連携

相互浸透型協働システムによるイノベーション創出
世界トップレベルのフォトニクス研究開発拠点を目指す、「大阪大学フォトニクス先端融合研究拠点」事業に参加しています。ここではウルトラファインバブルの生成、計測、応用技術の開発など、大学や企業との連携により、IDECにおける新分野のイノベーションに取り組んでいます。



IDEC大阪大学ラボ

Financial Report

財務ハイライト

| 損益状況(3月31日に終了した各会計年度) / Profit and Loss Status (Years ended March 31) | 百万円 | | | Thousands of U.S. dollars (注記5) |
|---|---------|---------|---------|---------------------------------|
| | 2016 | 2015 | 2014 | 2016 |
| 売上高 / Net sales | ¥43,468 | ¥42,173 | ¥36,319 | \$385,731 |
| 売上総利益 / Gross profit | 18,017 | 17,117 | 15,406 | 159,888 |
| 販売費及び一般管理費 / Selling, general and administrative expenses | 14,841 | 14,207 | 13,063 | 131,700 |
| 営業利益 / Operating income | 3,176 | 2,910 | 2,342 | 28,187 |
| 経常利益 / Ordinary income | 3,182 | 3,160 | 2,482 | 28,238 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 / Net income attribute to owners of parent | 1,708 | 2,096 | 1,456 | 15,158 |

| キャッシュ・フロー状況(3月31日に終了した各会計年度) / Cash Flow Status (Years ended March 31) | 百万円 | | | Thousands of U.S. dollars (注記5) |
|--|---------|---------|---------|---------------------------------|
| | 2016 | 2015 | 2014 | 2016 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー / Net cash provided by (used in) operating activities | 5,690 | 1,925 | 4,633 | 50,500 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー / Net cash provided by (used in) investing activities | (18) | (1,169) | (2,493) | (168) |
| フリー・キャッシュ・フロー (注記2) / Free cash flow | 5,671 | 756 | 2,139 | 50,331 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー / Net cash provided by (used in) financing activities | (2,611) | (891) | (1,929) | (23,173) |
| 減価償却費 / Depreciation and amortization | 1,519 | 1,677 | 1,699 | 13,316 |
| 設備投資額 / Capital expenditures | 1,500 | 1,761 | 2,277 | 13,486 |

| 財務状態(各会計年度末) / Financial Status (As of March 31) | | | | |
|--|--------|--------|--------|---------|
| 総資産 / Total assets | 49,328 | 49,378 | 45,778 | 437,733 |
| 有利子負債 (注記3) / Total Interest-bearing liabilities | 5,348 | 6,710 | 6,006 | 47,459 |
| 自己資本 / Total Shareholders' equity | 31,976 | 32,121 | 28,801 | 283,753 |

| 1株当たり情報(円/U.S. Dollars) / Per Share Information | | | | |
|---|----------|----------|--------|------|
| 潜在株式調整後当期純利益(EPS) / Earnings per share (EPS) on a diluted basis | 56.47 | 69.30 | 48.99 | 0.50 |
| 純資産(BPS) / Book value per share (BPS) | 1,057.28 | 1,062.53 | 959.56 | 9.38 |
| 配当金(年間) / Cash Dividends per share (annual) | 36 | 35 | 30 | 0.31 |

| 財務指標等 / Financial Indicators | | | | |
|--|--------|--------|--------|--------|
| 自己資本利益率(ROE) / Return on equity (ROE) | 5.3% | 6.9% | 5.2% | 5.3% |
| 自己資本比率 / Shareholders' equity ratio | 64.8% | 65.1% | 62.9% | 64.8% |
| 流動比率 / Current ratio | 176.9% | 170.8% | 159.0% | 176.9% |
| 株主資本配当率(DOE) (注記4) / Dividends on equity (DOE) | 3.5% | 3.5% | 3.1% | 3.5% |

注記: 1. 本アニュアルレポート中の記載金額は表示単位未満を切り捨て、比率については表示単位未満の端数を四捨五入してそれぞれ表示しています。
 2. フリー・キャッシュ・フロー＝営業活動によるキャッシュ・フロー＋投資活動によるキャッシュ・フロー
 3. 有利子負債＝短期借入金＋長期借入金
 4. 株主資本配当率(DOE)＝年間配当額÷株主資本
 5. 米ドル表記については、すべて2016年3月31日の実勢レート1米ドル＝112.69円を使用して、海外の読者の便宜のために換算したものです。

連結貸借対照表 / Consolidated Balance Sheet

| 2016年および2015年3月31日現在 / As of March 31, 2016 and 2015 | 百万円 | | Thousands of U.S. dollars (注記2) |
|--|---------|---------|---------------------------------|
| | 2016 | 2015 | 2016 |
| 資産の部 / Assets | | | |
| 流動資産 / Current assets | | | |
| 現金及び預金 / Cash and deposits | 10,742 | 7,995 | 95,328 |
| 受取手形及び売掛金 / Notes and accounts receivable-trade | 7,077 | 6,816 | 62,800 |
| 有価証券 / Securities | 901 | 841 | 8,000 |
| 商品及び製品 / Merchandise and finished goods | 4,355 | 5,459 | 38,648 |
| 仕掛品 / Work in process | 1,183 | 1,177 | 10,502 |
| 原材料及び貯蔵品 / Raw materials and supplies | 2,033 | 2,395 | 18,043 |
| 前渡金 / Advance payments-trade | 7 | 68 | 66 |
| 繰延税金資産 / Deferred tax assets | 772 | 754 | 6,858 |
| その他 / Others | 706 | 744 | 6,268 |
| 貸倒引当金 / Allowance for doubtful accounts | (42) | (41) | (372) |
| 流動資産合計 / Total current assets | 27,738 | 26,212 | 246,144 |
| 固定資産 / Non-current assets | | | |
| 有形固定資産 / Property, plant and equipment | | | |
| 建物及び構築物【純額】 / Buildings and structures, net | 8,321 | 9,056 | 73,847 |
| 機械装置及び運搬具【純額】 / Machinery, equipment and vehicles, net | 1,131 | 1,182 | 10,044 |
| 工具器具及び備品【純額】 / Tools, furniture and fixtures, net | 762 | 842 | 6,768 |
| 土地 / Land | 7,438 | 8,254 | 66,010 |
| リース資産【純額】 / Lease assets, net | 230 | 238 | 2,049 |
| 建設仮勘定 / Construction in progress | 265 | 292 | 2,357 |
| 有形固定資産合計 / Total property, plant and equipment | 18,151 | 19,867 | 161,078 |
| 無形固定資産 / Intangible assets | | | |
| ソフトウェア / Software | 264 | 304 | 2,350 |
| リース資産 / Lease assets | 45 | 0 | 406 |
| のれん / Goodwill | 358 | 426 | 3,184 |
| その他 / Others | 102 | 98 | 906 |
| 無形固定資産合計 / Total intangible assets | 771 | 831 | 6,847 |
| 投資その他の資産 / Investments and other assets | | | |
| 投資有価証券 / Investment securities | 1,479 | 1,179 | 13,125 |
| 長期貸付金 / Long-term loans receivable | 470 | 530 | 4,174 |
| 繰延税金資産 / Deferred tax assets | 189 | 200 | 1,682 |
| その他 / Others | 568 | 599 | 5,043 |
| 貸倒引当金 / Allowance for doubtful accounts | (41) | (42) | (364) |
| 投資その他の資産合計 / Total investments and other assets | 2,666 | 2,467 | 23,661 |
| 固定資産合計 / Total non-current assets | 21,590 | 23,165 | 191,588 |
| 資産合計 / Total assets | 49,328 | 49,378 | 437,733 |
| 負債の部 / Liabilities | | | |
| 流動負債 / Current liabilities | | | |
| 支払手形及び買掛金 / Notes and accounts payable-trade | 4,065 | 3,280 | 36,077 |
| 電子記録債務 / Electronically recorded obligations-operating | 1,276 | 1,359 | 11,330 |
| 短期借入金 / Short-term loans payable | 5,140 | 6,310 | 45,611 |
| 1年内返済予定の長期借入金 / Current portion of long-term loans payable | 166 | 192 | 1,479 |
| リース債務 / Lease obligations | 93 | 100 | 831 |
| 未払法人税等 / Income taxes payable | 396 | 674 | 3,521 |
| 繰延税金負債 / Deferred tax liabilities | 0 | — | 4 |
| 未払金 / Accounts payable-other | 712 | 931 | 6,320 |
| 未払費用 / Accrued expenses | 1,565 | 1,540 | 13,895 |
| 前受金 / Advances received | 981 | 92 | 8,706 |
| 預り金 / Deposits received | 673 | 678 | 5,975 |
| 製品保証引当金 / Provision for product warranties | 220 | — | 1,952 |
| その他 / Others | 389 | 185 | 3,458 |
| 流動負債合計 / Total current liabilities | 15,682 | 15,345 | 139,165 |
| 固定負債 / Non-current liabilities | | | |
| 社債 / Bonds payable | 50 | 50 | 443 |
| 長期借入金 / Long-term loans payable | 41 | 208 | 368 |
| リース債務 / Lease obligations | 154 | 155 | 1,374 |
| 繰延税金負債 / Deferred tax liabilities | 23 | — | 207 |
| 役員退職慰労引当金 / Provision for directors' retirement benefits | 71 | 68 | 638 |
| 退職給付に係る負債 / Net defined benefit liability | 1,012 | 1,035 | 8,986 |
| 資産除去債務 / Asset retirement obligations | 76 | 88 | 680 |
| 長期未払金 / Long-term accounts payable-other | 6 | 77 | 58 |
| その他 / Others | 3 | 3 | 33 |
| 固定負債合計 / Total non-current liabilities | 1,441 | 1,687 | 12,792 |
| 負債合計 / Total liabilities | 17,124 | 17,032 | 151,957 |
| 純資産の部 / Net assets | | | |
| 株主資本 / Shareholders' equity | | | |
| 資本金 / Capital stock | 10,056 | 10,056 | 89,241 |
| 資本剰余金 / Capital surplus | 9,723 | 9,721 | 86,283 |
| 利益剰余金 / Retained earnings | 18,146 | 17,587 | 161,030 |
| 自己株式 / Treasury stock | (6,848) | (6,859) | (60,776) |
| 株主資本合計 / Total shareholders' equity | 31,077 | 30,506 | 275,778 |
| その他の包括利益累計額 / Accumulated other comprehensive income | | | |
| その他有価証券評価差額金 / Valuation difference on available-for-sale securities | 461 | 295 | 4,097 |
| 為替換算調整勘定 / Foreign currency translation adjustment | 519 | 1,389 | 4,606 |
| 退職給付に係る調整累計額 / Remeasurements of defined benefit plans | (82) | (69) | (728) |
| その他の包括利益累計額合計 / Total accumulated other comprehensive income | 898 | 1,615 | 7,974 |
| 新株予約権 / Subscription rights to shares | 21 | 14 | 193 |
| 非支配株主持分 / Non-controlling interests | 206 | 209 | 1,829 |
| 純資産合計 / Total net assets | 32,204 | 32,345 | 285,775 |
| 負債純資産合計 / Total liabilities and net assets | 49,328 | 49,378 | 437,733 |

注記: 1. 本アニュアルレポートの作成にあたっては、連結株主資本等変動計算書および注記事項は省略しておりますので、詳細については、金融庁の「EDINET(金融商品取引法に基づく有価証券報告書等の開示書類に関する電子開示システム)」を通じて開示している有価証券報告書をご確認ください。
 2. また、P26-28の連結財務諸表に記載の米ドル表記については、すべて2016年3月31日の実勢レート1米ドル＝112.69円を使用して、海外の読者の便宜のために換算したものです。

連結損益計算書／Consolidated Statement of income

| | 百万円 | | Thousands of U.S. dollars (注記2) |
|--|--------|--------|------------------------------------|
| 3月31日に終了した各会計年度／Years ended March 31 | 2016 | 2015 | 2016 |
| 売上高／Net sales | 43,468 | 42,173 | 385,731 |
| 売上原価／Cost of sales | 25,450 | 25,056 | 225,843 |
| 売上総利益／Gross profit | 18,017 | 17,117 | 159,888 |
| 販売費及び一般管理費／Selling, general and administrative expenses | 14,841 | 14,207 | 131,700 |
| 営業利益／Operating income | 3,176 | 2,910 | 28,187 |
| 営業外収益／Non-operating income | | | |
| 受取利息／Interest income | 32 | 28 | 292 |
| 受取配当金／Dividends income | 19 | 15 | 171 |
| 持分法による投資利益／Share of profit of entities accounted for using equity method | 69 | — | 613 |
| 為替差益／Foreign exchange gains | — | 231 | — |
| 受取賃貸料／Rent income | 110 | 108 | 979 |
| その他／Others | 96 | 101 | 859 |
| 営業外収益合計／Total non-operating income | 328 | 484 | 2,915 |
| 営業外費用／Non-operating expenses | | | |
| 支払利息／Interest expenses | 42 | 45 | 376 |
| 為替差損／Foreign exchange losses | 86 | — | 765 |
| 持分法による投資損失／Share of loss of entities accounted for using equity method | — | 7 | — |
| 減価償却費／Depreciation | 78 | 74 | 697 |
| 支払補償費／Compensation expenses | — | 26 | — |
| その他／Others | 115 | 79 | 1,025 |
| 営業外費用合計／Total non-operating expenses | 322 | 234 | 2,864 |
| 経常利益／Ordinary income | 3,182 | 3,160 | 28,238 |
| 特別利益／Extraordinary income | | | |
| 固定資産売却益／Gain on sales of non-current assets | 255 | 3 | 2,265 |
| 新株予約権戻入益／Gain on reversal of subscription rights to shares | — | 26 | — |
| 特別利益合計／Total extraordinary income | 255 | 29 | 2,265 |
| 特別損失／Extraordinary loss | | | |
| 固定資産売却損／Loss on sales of non-current assets | — | 2 | — |
| 減損損失／Impairment loss | 41 | 30 | 370 |
| 固定資産廃棄損／Loss on abandonment of non-current assets | 2 | 1 | 23 |
| 投資有価証券売却損／Loss on sales of investment securities | 1 | — | 9 |
| 投資有価証券評価損／Loss on valuation of investment securities | 2 | — | 19 |
| 事業再編損／Restructuring loss | 769 | — | 6,831 |
| 特別損失合計／Total extraordinary loss | 817 | 34 | 7,253 |
| 税金等調整前当期純利益／Income before income taxes and other adjustments | 2,620 | 3,155 | 23,250 |
| 法人税、住民税及び事業税／Income taxes-current | 967 | 1,110 | 8,584 |
| 法人税等調整額／Income taxes-deferred | (73) | (71) | (652) |
| 法人税等合計／Total income taxes | 893 | 1,039 | 7,931 |
| 当期純利益／Net income | 1,726 | 2,116 | 15,318 |
| 非支配株主に帰属する当期純利益／Net income attribute to non-controlling interests | 18 | 20 | 160 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益／Net income attribute to owners of parent | 1,708 | 2,096 | 15,158 |

連結キャッシュ・フロー計算書／Consolidated Statement of Cash Flow

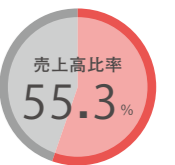
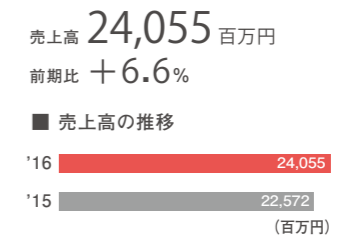
| | 百万円 | | Thousands of U.S. dollars (注記2) |
|---|---------|---------|------------------------------------|
| 3月31日に終了した各会計年度／Years ended March 31 | 2016 | 2015 | 2016 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー／Net cash provided by (used in) operating activities | | | |
| 税金等調整前当期純利益／Income before income taxes and other adjustments | 2,620 | 3,155 | 23,250 |
| 減価償却費／Depreciation and amortization | 1,519 | 1,677 | 13,486 |
| 減損損失／Impairment loss | 41 | 30 | 370 |
| のれん償却額／Amortization of goodwill | 66 | 59 | 594 |
| 貸倒引当金の増減額〔()は減少〕／Increase (decrease) in allowance for doubtful accounts | 1 | (59) | 13 |
| 受取利息及び受取配当金／Interest and dividends income | (52) | (43) | (463) |
| 支払利息／Interest expenses | 42 | 45 | 376 |
| 為替差損益〔()は益〕／Foreign exchange losses (gains) | (17) | (18) | (155) |
| 持分法による投資損益〔()は益〕／Share of (profit) loss of entities accounted for using equity method | (69) | 7 | (613) |
| 売上債権の増減額〔()は増加〕／Decrease (increase) in notes and accounts receivable-trade | (638) | 69 | (5,663) |
| たな卸資産の増減額〔()は増加〕／Decrease (increase) in inventories | 998 | (754) | 8,858 |
| 仕入債務の増減額〔()は減少〕／Increase (decrease) in notes and accounts payable-trade | 1,091 | (719) | 9,689 |
| 投資有価証券売却損益〔()は益〕／Loss (gain) on sales of investment securities | 1 | — | 9 |
| 製品保証引当金の増減額〔()は減少〕／Increase (decrease) in provision for product warranties | 220 | — | 1,952 |
| 退職給付に係る負債の増減額〔()は減少〕／Increase (decrease) in net defined benefit liability | (53) | 45 | (472) |
| 固定資産売却損益〔()は益〕／Loss (gain) on sales of non-current assets | (255) | (0) | (2,265) |
| 投資有価証券評価損益〔()は益〕／Loss (gain) on valuation of investment securities | 2 | — | 19 |
| 固定資産廃棄損／Loss on abandonment of non-current assets | 2 | 1 | 23 |
| 事業再編損／Loss on business restructuring | 322 | — | 2,857 |
| 前受金の増減額〔()は減少〕／Increase (decrease) in advances received | 888 | (780) | 7,885 |
| 未収入金の増減額〔()は増加〕／Decrease (increase) in accounts receivable-other | 16 | 24 | 145 |
| 未払金の増減額〔()は減少〕／Increase (decrease) in accounts payable-other | (123) | 116 | (1,096) |
| 未払費用の増減額〔()は減少〕／Increase (decrease) in accrued expenses | (40) | 5 | (360) |
| 未払消費税等の増減額〔()は減少〕／Increase (decrease) in accrued consumption taxes | 172 | (88) | 1,527 |
| 未払賞与の増減額〔()は減少〕／Increase (decrease) in accounts payable-bonuses | 77 | (17) | 688 |
| 預り金の増減額〔()は減少〕／Increase (decrease) in deposits received | (4) | (57) | (41) |
| 長期未払金の増減額〔()は減少〕／Increase (decrease) in long-term accounts payable-other | (70) | (61) | (626) |
| その他／Others | 137 | 60 | 1,223 |
| 小計／Subtotal | 6,898 | 2,698 | 61,213 |
| 利息及び配当金の受取額／Interest and dividends income received | 51 | 43 | 460 |
| 利息の支払額／Interest expenses paid | (43) | (53) | (385) |
| 法人税等の支払額／Income taxes paid | (1,215) | (763) | (10,788) |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー／Net cash provided by (used in) operating activities | 5,690 | 1,925 | 50,500 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー／Net cash provided by (used in) investing activities | | | |
| 有価証券の取得による支出／Purchase of securities | (240) | — | (2,132) |
| 有価証券の売却による収入／Proceeds from sales of securities | 120 | 441 | 1,066 |
| 有形固定資産の取得による支出／Purchase of property, plant and equipment | (1,294) | (1,375) | (11,484) |
| 有形固定資産の売却による収入／Proceeds from sales of property, plant and equipment | 1,451 | 22 | 12,877 |
| 無形固定資産の取得による支出／Purchase of intangible assets | (93) | (154) | (829) |
| 投資有価証券の取得による支出／Purchase of investment securities | (5) | — | (48) |
| 投資有価証券の売却による収入／Proceeds from sales of investment securities | 5 | 6 | 50 |
| 長期貸付による支出／Payments of long-term loans receivable | — | (22) | — |
| 長期貸付金の回収による収入／Collection of long-term loans receivable | 62 | 24 | 553 |
| 連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出／Purchase of shares of subsidiaries resulting in change in scope of consolidation | — | (122) | — |
| その他／Others | (24) | 10 | (220) |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー／Net cash provided by (used in) investing activities | (18) | (1,169) | (168) |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー／Net cash provided by (used in) financing activities | | | |
| 短期借入金の純増減額〔()は減少〕／Net increase (decrease) in short-term loans payable | (1,170) | 214 | (10,382) |
| 長期借入金の返済による支出／Repayment of long-term loans payable | (192) | (213) | (1,703) |
| 自己株式の取得による支出／Purchase of treasury stock | (0) | (0) | (2) |
| ストックオプションの行使による収入／Proceeds from exercise of share options | 10 | 157 | 92 |
| 配当金の支払額／Cash dividends paid | (1,143) | (900) | (10,146) |
| 非支配株主への配当金の支払額／Dividends paid to non-controlling interests | (1) | (1) | (15) |
| リース債務の返済による支出／Repayments of lease obligations | (114) | (147) | (1,015) |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー／Net cash provided by (used in) financing activities | (2,611) | (891) | (23,173) |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額／Effect of exchange rate change on cash and cash equivalents | (313) | 387 | (2,779) |
| 現金及び現金同等物の増減額〔()は減少〕／Net increase (decrease) in cash and cash equivalents | 2,747 | 252 | 24,378 |
| 現金及び現金同等物の期首残高／Cash and cash equivalents at beginning of year | 7,995 | 7,743 | 70,950 |
| 現金及び現金同等物の期末残高／Cash and cash equivalents at end of year | 10,742 | 7,995 | 95,328 |

製品別売上高

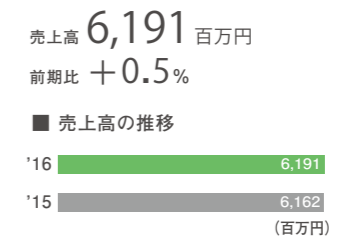
制御用操作スイッチなど主力の制御機器製品や自動認識機器製品の売上が伸長。



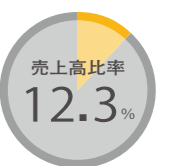
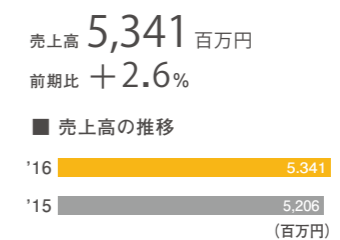
制御用操作スイッチやイネーブルスイッチなど安全関連機器製品の売上が伸長しました。



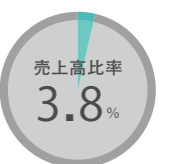
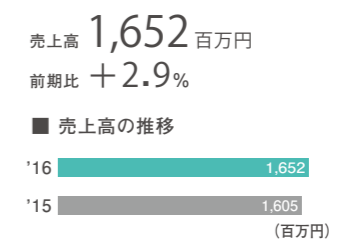
プログラマブルコントローラの売上が減少したものの、自動認識機器製品の売上が伸長しました。



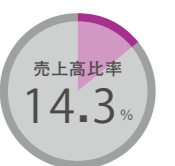
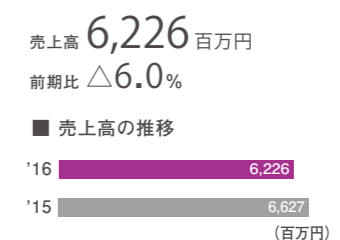
端子台などの売上は減少したものの、スイッチング電源の売上が好調に推移しました。



防爆LED照明や防爆コントロールボックスなどの売上が伸長しました。

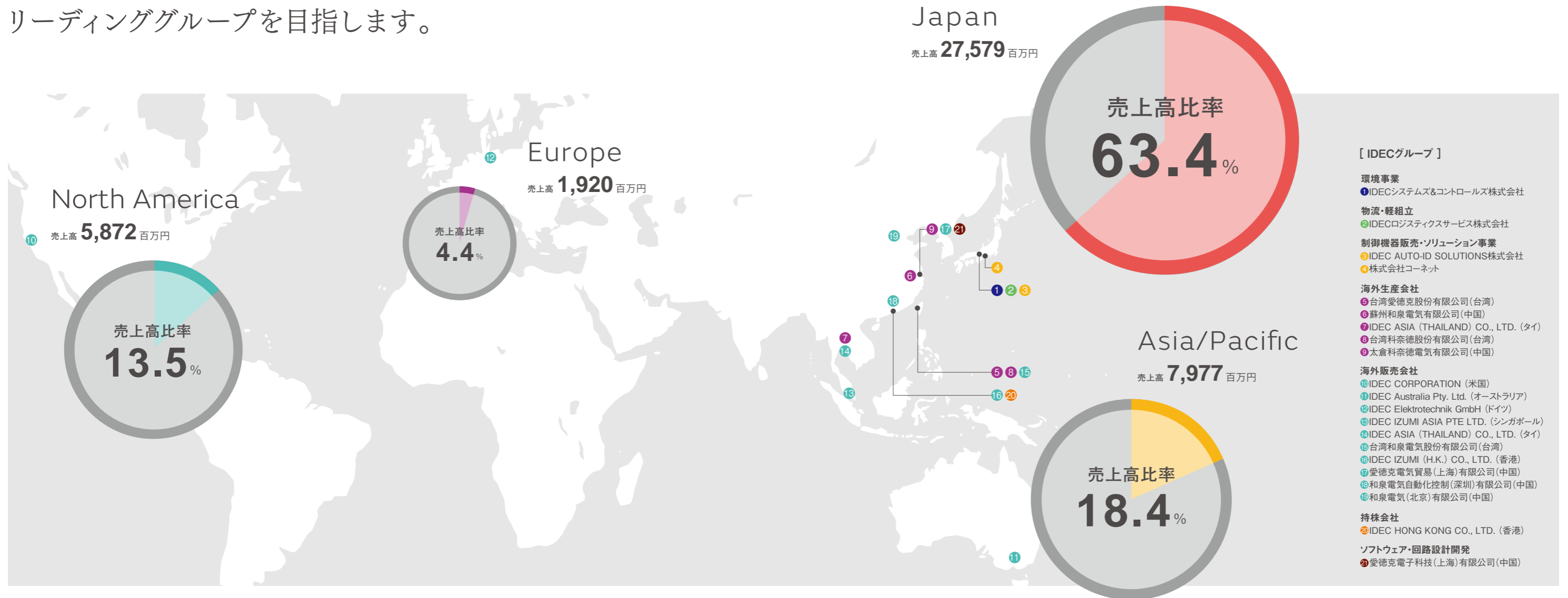


太陽光発電関連事業は好調だったものの、環境関連事業全体としては減少しました。



グローバル体制

グローバルに進化する制御機器業界のリーディンググループを目指します。



[Message from IDEC Group]

Japan

Asia / Pacific

North America

Europe



現場力を
Super Charge!

国内営業統括部
東日本営業部 部長
神川 忠司



Innovation through customer focus

セールス・マーケティング本部
グローバル事業戦略室 室長
松木 崇雄



以小球推动大球

愛徳克電氣貿易(上海)有限公司
総経理
松井 洋人



终日乾乾, 与时偕行

蘇州和泉電氣有限公司
副部長
任 蓉



The more we do,
the more we can do!

IDEC IZUMI ASIA PTE LTD.
Director
鈴木 健史



Re-engineer, Re-structure, execute.

IDEC CORPORATION
Director of Sales
Rajiv Salhotra



The FUN of WINNING
more AUTOMATED

IDEC CORPORATION
Sales Manager
Elias El-Ters



Satisfying customers' special
requirements makes our business grow.

IDEC Elektrotechnik GmbH
Operations Manager
Frank Lisker



CSR Report

安全で持続可能な社会を実現するため、
IDECは歩み続ける。

藤田 俊弘
常務執行役員 技術戦略本部長
IDECグループ C.T.O.

IDECグループのCSR方針



IDECグループのCSR活動の詳細は、Webサイトでご覧いただけます。
<http://jp.idec.com/ja/aboutIDEC/csr>

国連グローバル・コンパクトの10原則

- 【人権】企業は、
1：国際的に宣言されている人権の保護を支持、尊重し、
2：自らが人権侵害に加担しないよう確保すべきである。
- 【労働基準】企業は、
3：結社の自由と団体交渉の実効的な承認を支持し、
4：あらゆる形態の強制労働の撤廃を支持し、
5：児童労働の実効的な廃止を支持し、
6：雇用と職業における差別の撤廃を支持すべきである。
- 【環境】企業は、
7：環境上の課題に対する予防原則的アプローチを支持し、
8：環境に関するより大きな責任を率先して引き受け、
9：環境に優しい技術の開発と普及を奨励すべきである。
- 【腐敗防止】企業は、
10：強要と贈収賄を含むあらゆる形態の腐敗の防止に取り組むべきである。

※国連グローバル・コンパクトとは、「企業が責任ある創造的なリーダーシップを発揮することによって、社会のよき一員として行動し、持続可能な成長を実現するための世界的な枠組みづくりに参加する自発的な取り組み」です。

[安全への取り組み]

「安全性」と「生産性」を
高いレベルで両立させるために。

【安全基本方針】

IDECグループは、「人間性尊重経営」を前提として、「企業活動を通じて社会・経済に貢献する」という経営の基本方針に基づき、IDECグループだけでなくグローバル社会での安全で快適な環境づくりのため、すべての事業活動において常に高い安全性の実現を目指します。

セーフティリードアセッサの
知見を活かして
顧客サービスを行っています

福井 浩文
国内営業統括部
テック&サポートセンター
セーフティリードアセッサ
(制御安全・機械安全分野)



IDECグループのCSR方針

■代表的な安全・防爆機器製品

非常停止用押ボタンスイッチ X6シリーズ

第3世代の安全構造、セーフティポテンシャル構造を搭載した、世界最小クラスの非常停止用押ボタンスイッチです。

本質安全・耐圧防爆構造 タッチスイッチ付表示器 EX4R形

水素ガスを含むゾーン1,2の危険場所で使用可能なタッチスイッチ付表示器です。



X6シリーズ

EX4R形

■「安全をつくる」プロの育成

セーフティアセッサ有資格者の育成

社員のセーフティアセッサ資格*の取得を推進し、安全製品の開発・普及やコンサルティングにおいて、安全性の妥当性を適切に判断できる人材を育成しています。日本だけでなく中国やタイなどの海外拠点においても資格の取得を進めており、2016年3月31日現在のグループ全体での有資格者は367名となりました。

当社資格保有者数

- セーフティリードアセッサ→14名
[第三者として安全性の妥当性を判断する総合力がある]
- セーフティアセッサ→36名
[安全性の妥当性を判断する総合力がある]
- セーフティサブアセッサ→157名
[安全性の妥当性確認に必要とされる基礎知識・能力がある]
- セーフティベーシックアセッサ→160名
[機械運用安全または防爆電気機器安全の基礎知識を有する]

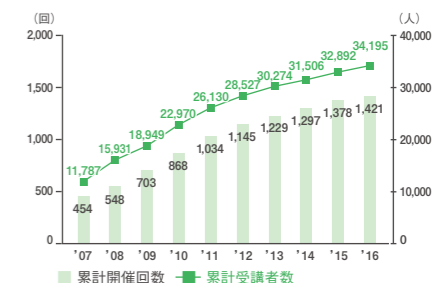
※セーフティアセッサ資格とは、日本認証(株)、(一社)日本電気制御機器工業会、安全技術応用研究会、テュフラインランドジャパン(株)の連携によって制度化された、機械安全の知識と能力を認定する資格制度です。

■「安全」の啓発活動

セミナー、講演会の実施

産業事故削減への貢献を目指し、「ものづくり安全セミナー」、「防爆安全セミナー」を開催しています。2016年3月期は全国で43回のセミナーを開催し、1,303名の方に参加いただき、累計受講者数は34,195名となりました。

[セミナー開催回数と受講者の累計]



[地球環境保護への取り組み]

事業を通じて、
環境負荷低減に貢献する。

【 環境基本方針 】

私たちは、地球環境と企業運営の関係において、地球との共生が人類共通の願いであることを認識し、事業活動のすべての面で、環境の保全を最重要課題として行動し、持続可能な発展を目指します。

住宅でのエネルギーマネジメント
システムの普及を通じて、
環境負荷低減に貢献します

大井 崇資
IDECシステムズ&コントロールズ株式会社
環境エネルギー事業統括部
スマートエネルギー事業部
開発部



[品質への取り組み]

全員で考え、全員で挑戦する。
「品質」はすべての企業活動の基本である。

【 品質基本方針 】

我が社が目標とする品質を「使いやすさ」におき、ユーザーに安心して購入し満足して使用していただける優れた製品と、これを最も経済的に作り出す技術を確保するため、全員で考え全員で挑戦する品質保証体制を築き、「品質のIDEC」を実現する。

安心と信頼を生む、
品質保証体制の
強化を進めます

井上 武士
品質保証センター
生産品質保証グループ



■地球環境保護につながるIDECの事業展開

再生可能エネルギーの普及促進への貢献

持続可能な社会を目指し、IDECグループとしてメガソーラーなど産業用太陽光発電設備の供給に加え、自発電事業者となるなど、再生可能エネルギーの普及促進を行っています。

また、住宅で使うエネルギーを「みえる化」し、最適制御するHEMSコントローラや、パワーコンディショナなどのエネルギーマネジメントシステムの提供により、エネルギーの無駄をなくし、省エネに貢献しています。



佐用・IDEC 中山太陽光発電所 HEMSコントローラ(左)とパワーコンディショナ(右)

■IDECグループ開発ポリシー、評価基準

「省」の思想に基づいた製品開発活動

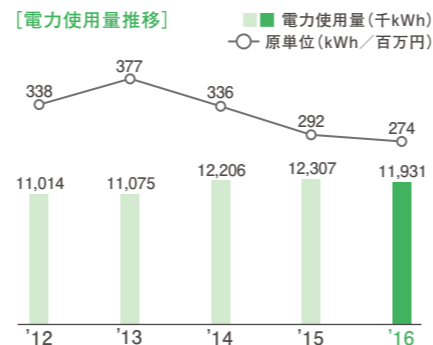
IDECグループでは、1978年の製品開発ポリシーの制定以来、製品開発における基本思想として、「省」に基づく最適制御の実現を掲げています。省エネルギー・省スペース・省メンテナンス・省資源など、あらゆる「省」の思想は現在も変わらず、独自の設計審査基準に基づいた新しい環境配慮型製品の開発に継続的に取り組んでいます。

| 環境配慮型製品の設計審査基準 | |
|----------------|-----------|
| 配慮要素 | 製品構造 |
| 再利用 再資源化 | 再資源化容易性 |
| | 解体容易性 |
| | 廃棄処理容易性 |
| 省資源 省エネルギー | 減容化・軽量化 |
| | 消費電力削減 |
| | 長期使用対応 |
| 環境保全性 | 規制化学物質不使用 |

■環境負荷低減活動

ISO14001への取り組み

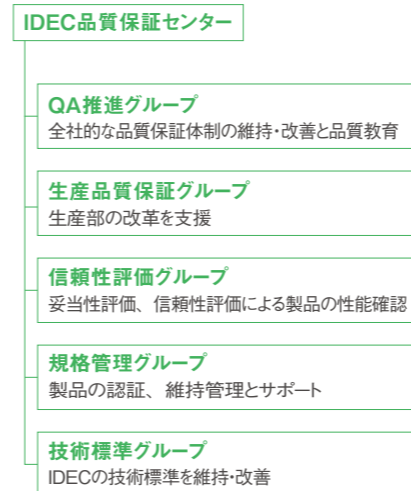
ISO14001環境マネジメントシステムに基づき年間の目標を定め、電力使用量、水使用量、紙使用量、廃棄物量、CO₂排出量の削減に全社をあげて取り組んでいます。



※原単位は各年度の売上高当たりの使用量です。
※データ集計範囲は、本社/技術研究センター、筑波事業所、尼崎事業所、浜松事業所、福岡事業所、通野事業所、電野物流センターです。
※その他の環境パフォーマンス推移はwebサイトでご覧いただけます。

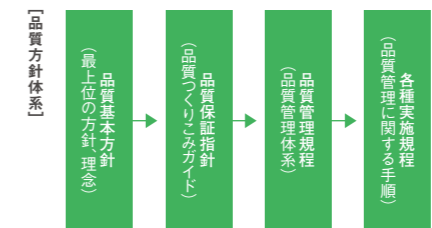
■品質保証体制

品質保証部門を中心とした保証体制を構築しています。



■品質保証指針

IDECの「品質基本方針」は「製品の価値を品質におく」ことを基本姿勢とし、これを堅持・完遂するという精神を謳っています。この品質基本方針に基づき、お客さまが必要とする期間、信頼かつ十分に満足して、使用し続けられる品質の製品を提供するため、各段階において組織的に実行すべき品質保証活動の指針を定めています。



■品質教育

生産・開発を含めた全社の品質レベル向上のため、階層ごとにカリキュラムを設定する、体系的な品質管理研修を継続的にを行っています。学習成果の確認として公的資格(品質管理検定)の受験を推奨するとともに、習得した考え方や手法を実際のQCサークル活動で実践し、その活動の成果を事業所ごとの発表会や全社IDEC大会で発表するなど、品質の向上や工程改善に取り組んでいます。



QCサークル発表会

[人権・従業員への取り組み]

一人ひとりの人生にとって、
IDECが実り多い職場であるために。

【人財基本方針】

人事施策を展開するにあたっては、その根底に「人間性尊重」の精神をもって行い、人財が育つ風土を確立する。経営基本方針の意図・内容を十分に理解し、それを実践・体現することによって、個々の使命・責任を果たすことのできる人財を育成する。



個々の多様性を尊重し、
誰もが働きやすい
職場を目指します

矢能 泰子
IDECロジスティクスサービス株式会社
管理グループ

[コーポレートガバナンス/コンプライアンス]

より透明に。より効率良く。
信頼される企業であり続けるために。

【コーポレートガバナンス・ポリシー】

IDECグループでは、株主さまをはじめとするステークホルダーに対して、経営の透明性ならびに効率性を確保することをコーポレートガバナンスの基本と考え、企業価値の向上を実現するために、コーポレートガバナンスのさらなる強化を推進します。



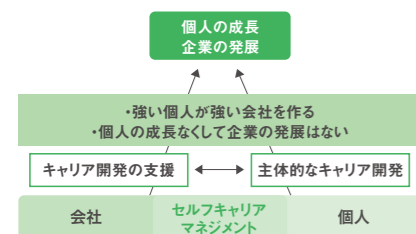
ステークホルダーの信頼に
応えるため、コンプライアンスの
徹底に努めます

南 生樹
経営管理部 経営企画グループ
法務担当



■人財育成

社員自らが考えるキャリアプランに沿った学習や経験ができるよう、体系的な研修とキャリアローテーションを実施し、個人のキャリア開発を支援しています。IDECでは、求める人財像として「チャレンジ精神」、「チームワーク」、「自己研鑽」の3つを掲げ、社員自らが自己成長に積極的に取り組むとともに、会社も積極的にキャリア開発の機会を提供しています。



■ライフ・ワーク・バランスの推進

育児や介護をしながら働いている社員を皆で支え合う制度を充実させ、すべての社員が安心して働ける基盤を整えており、2016年3月期の女性従業員の育児休業取得率、育児休業復帰率はともに100%となりました。また、2017年3月期より、介護や家族を看護するための休暇の半日単位取得や、介護休業の3回までの分割取得を可能にしました。今後も家庭と仕事の両立支援に取り組んでいきます。

【出産・育児に関する諸制度】

| 妊娠 | 出産 | 1歳 | |
|--------------|---------|--|-------|
| つわり、産院に関する措置 | 産前・産後休暇 | 育児時間(3歳まで) 育児短時間勤務(小学3年まで) 育児時差勤務 子ども・家族の看護休暇 所定外労働の免除 時間外労働の制限 | 小学校卒業 |

■ダイバーシティの推進

国籍や性別を問わず優秀な人財の採用を進めるとともに、外国人技能実習生を受け入れるなど、IDECグループとしてダイバーシティを推進しています。また、グループ会社のIDECロジスティクスサービス株式会社では、障がい者の雇用と定着に積極的に取り組んでおり、2016年3月31日現在で16名の障がい者が就業しています(障がい者雇用率9%)。国籍や性別、年齢、障がいの有無などにかかわらず、多様な人財が活躍できる会社を目指しています。



日本人の従業員とともに働くベトナム人の技能実習生

■ガバナンス体制

1998年より執行役員制度を導入し、経営の業務執行機能と監督機能の分離を図り、効率的な経営を目指しています。また、社外取締役や社外監査役を積極的に選任、任用し、業務執行に対する監督・監査機能を強化しています。このようなコーポレートガバナンスに対する考え方や運営方針を周知するため、2016年2月にIDECコーポレートガバナンス・ポリシーを制定しました。

■グローバルアドバイザリーボード

事業運営に資する幅広いご意見・ご助言を得るため、社外取締役や企業経営者など国内外の有識者からなるグローバルアドバイザリーボードを設置しています。

ボードメンバーのRomano Volta 氏イタリアにおいて、工業オートメーション用光電装置などの分野で世界的リーディングカンパニーとなるDATALOGIC社を創業。



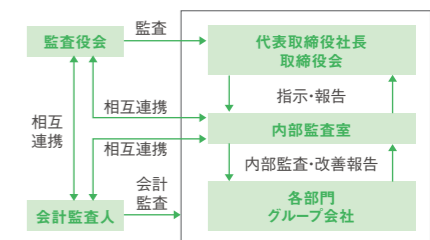
■コンプライアンス

職務を行ううえでの基本的な考え方や行動の指針を「行動基準」にまとめ、国内外グループ会社を含め広く従業員に配布しています。また新入社員から管理職まで入社年数や職責・階層に応じた研修体系を整備し、定期的な研修を実施しています。2015年3月期には内部通報関連規程、ハラスメント関連規程の見直しにともない、行動基準の補訂版を配布し、周知しています。



■監査体制

経営目標達成への貢献を目的に、合法性と効率性の観点から、公正かつ独立な立場で経営諸活動の状況の評価・支援しています。重点取り組み事項として、リスクのマネジメント、コントロールおよび組織体のガバナンスプロセスの有効性の評価改善提案とその支援を行っています。また、IDECグループの財務報告の信頼性確保にかかる内部統制の整備運用状況について、独立した視点で評価を実施しています。



役員紹介

健全かつ透明性の高い、
効率的な経営の実現を目指しています。

IDECは社外取締役、社外監査役を積極的に任用するとともに、
経営の監督機能と執行機能の分離を行い、
常に経営の透明性と効率性を重視した経営を行っております。

取締役 代表取締役会長兼社長
代表取締役専務
取締役
社外取締役
社外取締役
社外取締役
社外取締役
社外取締役

船木 俊之
船木 幹雄
藤田 慶二郎
中川 剛
八田 信男
山本 卓二
金井 美智子

監査役 常勤監査役
社外監査役
社外監査役
社外監査役

古川 正行
谷口 弘一
阪本 政敬
川人 正孝

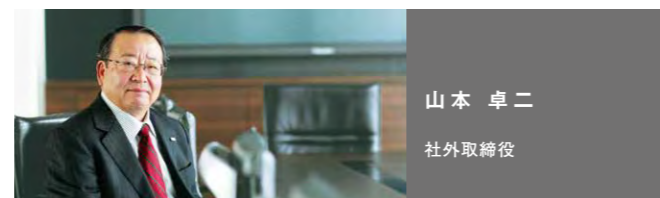
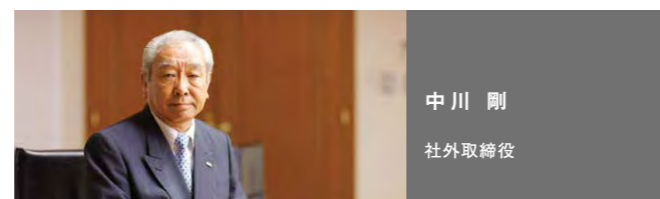
執行役員 常務執行役員 セールス・マーケティング担当
常務執行役員 技術戦略担当
常務執行役員 海外事業開発担当
執行役員 機器製品事業担当
執行役員 生産・SCM統括担当
執行役員 国内営業担当
執行役員 経営管理担当
執行役員 品質保証担当
執行役員 人財戦略担当

Arnaud Mondy
藤田 俊弘
Peter Tarantino
河中 泰治
丸山 泰治
多田 映一
西山 嘉彦
松本 敦
村井 俊文

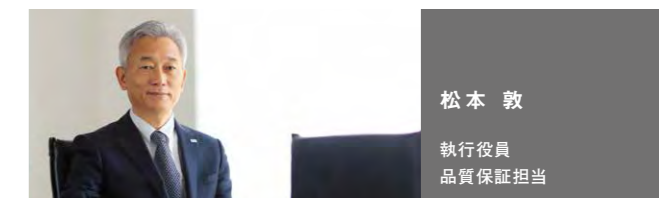
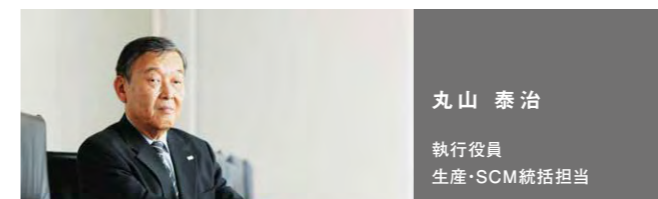
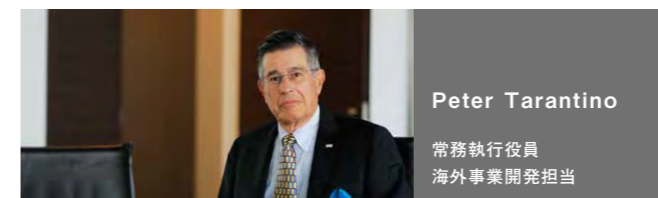
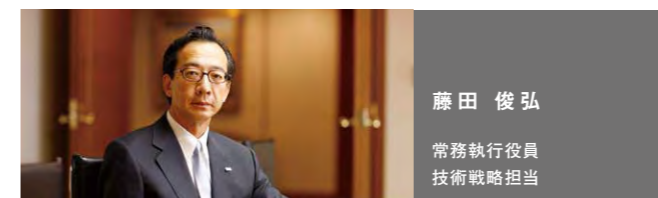
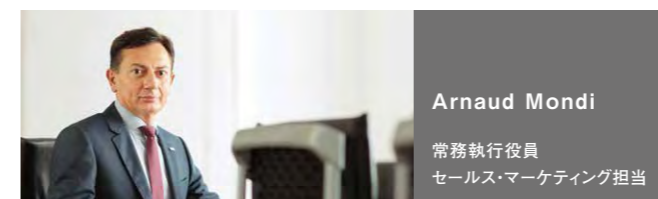
[取締役]



[社外取締役]



[執行役員]



会社情報

| 会社概要 | |
|---------------|--|
| 【社名】 | IDEC株式会社 |
| 【英文社名】 | IDEC CORPORATION |
| 【設立】 | 1947年3月26日 |
| 【資本金】 | 10,056,605,173円 |
| 【従業員数】 | 連結2,222名(2016年3月31日現在) ※特定社員・臨時社員含まず |
| 【上場取引所】 | 東京証券取引所市場第1部 |
| 【本社/技術研究センター】 | 〒532-0004 大阪市淀川区西宮原2丁目6番64号 電話:06-6398-2500(代表) |
| 【東京本社】 | 〒108-6014 東京都港区港南2丁目15番1号 (品川インターシティA棟14階) 電話:03-5782-7690(代表) |
| 【事業所】 | 筑波、尼崎、福崎、滝野 |
| 【営業所】 | 仙台、高崎、大宮、水戸、東京、多摩、横浜、長野、新潟、 富山、金沢、浜松、名古屋、京都、大阪、岡山、福山、 広島、四国、福岡 |
| 【物流センター】 | 竜野 |



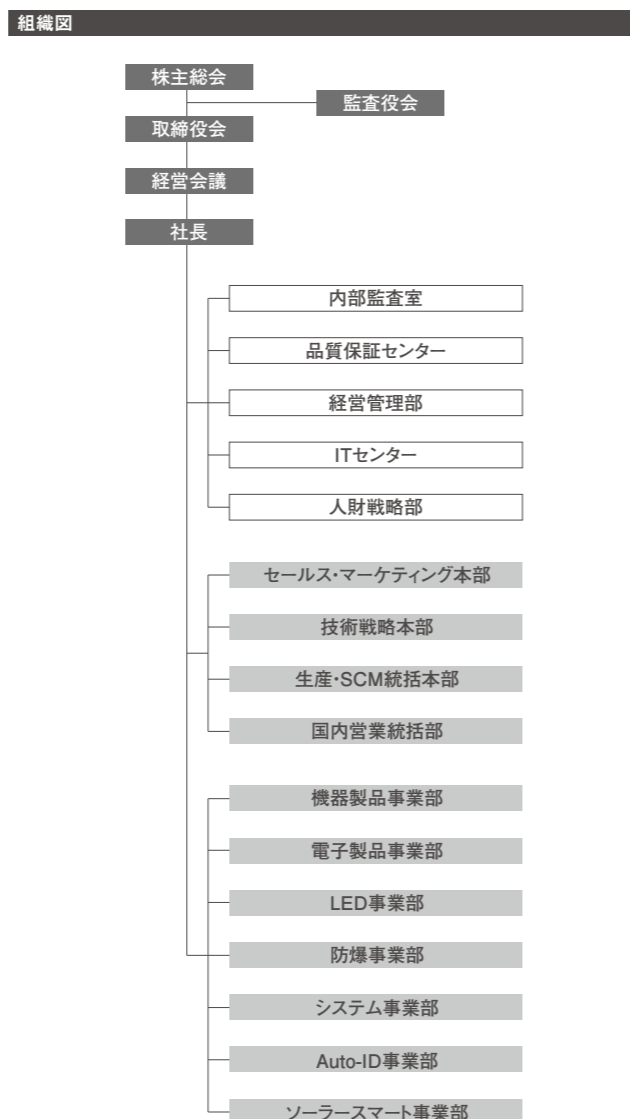
本社

東京本社



尼崎事業所

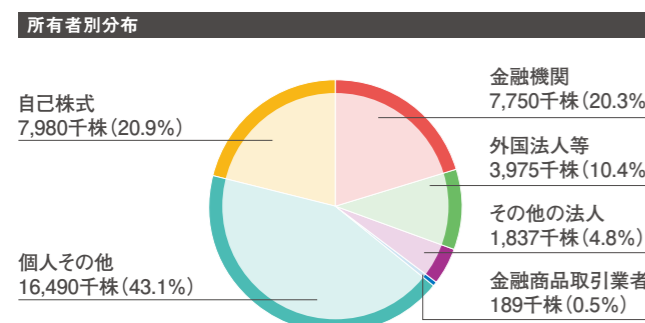
滝野事業所



株式情報

| 株式の状況 | | |
|--------------|-------------|---------|
| 発行可能株式総数 | 発行済株式の総数 | 株主数 |
| 150,000,000株 | 38,224,485株 | 10,567名 |

(注) 買取増請求への対応などにより、2016年3月31日現在の自己株式保有株式数は7,980,809株となっています。



| 大株主(上位10名) | | |
|---------------------------|---------|---------|
| 株主名 | 持株数(千株) | 持株比率(%) |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 | 3,087 | 10.21 |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社 | 1,261 | 4.17 |
| 有限会社松木興産 | 1,041 | 3.44 |
| 株式会社みずほ銀行 | 812 | 2.69 |
| 藤田 慶二郎 | 778 | 2.58 |
| 資産管理サービス信託銀行株式会社 | 632 | 2.09 |
| 株式会社三菱東京UFJ銀行 | 624 | 2.07 |
| CBNY-GOVERNMENT OF NORWAY | 580 | 1.92 |
| 松木 恒雄 | 575 | 1.90 |
| 日本生命保険相互会社 | 514 | 1.70 |

(注) 上記大株主の記載は、有価証券報告書の開示内容に準じています。 2016年3月31日現在



Think Automation and beyond...

企業目標 社員すべてが人間性を尊重しつつ企業の発展を通じて社会経済に貢献し、人生に意義あらしめるにある。

- 経営理念**
1. IDECは、ここに働く人達のためにあり、その豊かな生活の向上と働きがい生きがいを生みださなければならない。
 2. 企業の成長、発展はそのためにあり、利潤の追求はその手段として最も重要である。
 3. 各自の仕事の役割は違っても、心を一つにして、共通の目的の達成に努めなければならない。
 4. ガラス張り経営を貫き、相互信頼を高め、成果の公正な分配をはからなければならない。
 5. 社会に貢献することを常に考え、製品に誇りをもち、常に優れた製品を供給するとともに、奉仕と感謝の気持ちを決して忘れてはならない。